

## 【NEWS RELEASE】

2022年4月28日

各位

株式会社三井住友銀行

株式会社いなげやに「ESG/SDGs評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取 CEO：高島 誠）は、株式会社いなげや（代表取締役社長：本杉吉員）に対し、「ESG/SDGs評価融資」を実施いたしました。

「ESG/SDGs評価融資」は、株式会社三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：谷崎 勝教）が作成した独自の評価基準に基づき企業のESG（※1）側面の取組や情報開示、SDGs（持続可能な開発目標）（※2）達成への貢献を評価し、取組や情報開示の適切さについての現状分析、今後の課題、課題への取組事例等を還元させていただく融資商品です。

今回の株式会社いなげやに対する評価結果は、「サステナビリティ・マネジメント」「ローカル・コミュニティへの配慮」「製品・サービスにおける環境配慮」において非常に高い水準であると判断されました。企業経営において優れたESG側面の取組と情報開示を実施されており、また、事業を通じたSDGs達成への貢献意欲が高いとの評価となりました。

ESG側面の取組、情報開示では、以下の点等が評価されました。

- ① サステナビリティに向けた組織方針を明文化し、代表取締役社長を責任者に据えた検討体制を整備する等、経営上の重要課題としてサステナビリティの取組を推進している
- ② コロナ禍における店舗運営の継続や地産地消の推進、移動スーパーの運営、フードドライブ活動、子どもへの食育の実施等を通じて、地域社会に貢献されている
- ③ 詰替商品やプラントベースフード等、環境に配慮した商品を幅広く仕入れ販売するほか、資源リサイクルを行うため、店舗店頭でペットボトル、紙パック等の回収の取組を推進している

加えて、事業を通じて、SDGsが示す「目標 11：住み続けられるまちづくりを」「目標 12：つくる責任 つかう責任」等の達成に向けた意欲をお持ちです。

三井住友銀行では、「ESG/SDGs評価融資」により、お客さまのESG/SDGsへの取組を、金融を通じて支援してまいります。



様々な新型コロナウイルス  
感染防止対策を実施。  
地域の食を支えるインフラ  
として、店舗の営業を持続



移動スーパーとくし丸の  
事業を拡大。  
買い物弱者(高齢者など)  
の食を支え、地域の  
見守り支援も実施



店頭で資源リサイクルを推進。  
ペットボトルは“ボトル to ボトル”  
で、循環型リサイクルを実現

<ご参考>

#### ※1 ESGとは

ESGとは環境 (Environmental)、社会 (Social)、企業統治 (Corporate Governance) の頭文字を取ったものです。いずれの側面も企業が事業活動を展開するにあたって配慮や責任を求められる重要課題として考えられています。

#### ※2 SDGsとは

Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標) の略称。国連総会で採択された、新興国だけでなく先進国等あらゆる国と地域が、貧困や平等、教育、環境等、「誰も取り残されない世界」の実現を2030年までに目指す17の目標と169のターゲットのことです。

以 上

このニュースリリースは、投資や勧誘を推奨することを目的としたものではありません。